

令和5年神奈川県  
国家戦略特別区域限定保育士試験問題

子どもの保健

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。  
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …  (濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) …       

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次のうち、「健やか親子21（第2次）」（平成27年 厚生労働省等）の基盤課題として適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり
- B 多様化・高度化する成育過程にある者等の需要に適確に対応した成育医療等の切れ目ない提供
- C 成育過程にある者等に対する情報の適切な提供、社会的経済的状況に関わらず安心して子どもを生み、育てることができる環境の整備
- D 学童期・思春期から成人期に向けた保健対策
- E 切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	×
2	○	○	×	×	○
3	○	×	×	○	○
4	×	○	○	○	×
5	×	×	○	○	○

問2 次のうち、予防接種（ワクチン）が開発できていない疾患を一つ選びなさい。

- 1 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）
- 2 C型肝炎
- 3 髄膜炎菌感染症
- 4 百日咳
- 5 ロタウイルス感染症

問3 次の文は、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン（2019年度改訂版）」（厚生労働省）における「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 生活管理指導表は、アレルギーの有無に関わらず、すべての子どもについて作成する。
- B 入園面接時に、アレルギーにより保育所で特別な配慮や管理が必要である場合、保護者の申し出に応じ、アレルギー疾患を有する子どもの状況を把握する。
- C 保護者との協議を通じ、毎月、子どものアレルギーの状態に応じて生活管理指導表の再提出等を行う。
- D 保護者との面談の際、保育所での生活におけるアレルギーに関する具体的な対応を確認するとともに、情報共有の同意についても確認する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	×	○	○
2	○	×	×	○
3	×	○	○	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

問4 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

外遊びから帰った3歳幼児をトイレに誘導し、排泄を促すと、排泄時の尿量が少なく色が濃かった。保育士が気になって子どもの様子を引き続き観察したところ、時間とともに目が落ちくぼみ、ウトウトしてすぐに寝てしまう様子が見られた。手足を触ると冷たく呼吸が速いようである。

【設問】

この幼児に見られている兆候から、考えられる幼児の状態として適切なものを一つ選びなさい。

- 1 日光（光線）過敏
- 2 便秘
- 3 脱水
- 4 寝不足
- 5 脱臼

問5 次の文は、乳幼児の健康状態の特徴や健康状態の把握についての記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 乳幼児は、大人に比べて感染症にかかりにくい。
- 2 一人一人の平熱を把握することは、健康状態の把握に重要である。
- 3 乳幼児は、自分の身体の苦痛を適切な言葉で表すことが出来ないため、保育者が特に注意深く観察し、サインやシグナルをできるだけ速やかに読み取る必要がある。
- 4 「いつもと様子が違う」という保育士の気づきが、病気の早期発見につながることもある。
- 5 登園時、園児の様子が気になった場合には、保育士は保護者に声を掛け、前日から登園までの様子についてたずねる。

問6 次の文は、熱性けいれんの特徴を表す記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 日本では欧米に比べて高い頻度で熱性けいれんがみられる。
- B 熱性けいれんは、主に生後6か月～5歳ごろまでの乳幼児期に起こる。
- C 熱性けいれんを起こしたことがある子どものうち、半数以上は再発する。
- D 熱性けいれんは通常38℃以上の発熱に伴う発作性疾患で、髄膜炎や中枢神経感染症、代謝異常などの明らかな発作の原因がみられないものである。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	×	○	○

問7 次の文は、子どもの虐待の発見もしくは気づきのポイントとして、被虐待児に見られる心身の状況や様子、行動についての記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 子どもの身長と体重が著しく年齢相応でない。
- 2 虫歯の治療が行われていない。
- 3 こだわりが強く、人に対する関心が弱い。
- 4 子どもの表情が乏しく、受け答えが少ない。
- 5 不自然に子どもが保護者と密着している。

問8 次の【Ⅰ群】の感染症と、【Ⅱ群】の特徴的な症状の説明を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 麻疹（はしか）
- B 突発性発しん
- C 水痘（みずぼうそう）
- D 手足口病

【Ⅱ群】

- ア 発疹が顔面や頭部に出現し、全身へと拡大する。斑点状の赤い丘疹からはじまり、水疱となり、最後は痂皮（かさぶた）へと変化する。
- イ 口腔内、手のひら、膝、でん部、足の裏に水疱性発疹が見られる。
- ウ 初期の発熱が一旦下降し、再び上昇する。口腔内にコプリック斑がみられ、解熱後、発疹は色素沈着を残して消失する。
- エ 生まれて初めての発熱の際にかかっていることが多い。38℃以上の高熱が3日以上続き、解熱と同時に体幹を中心に細かい紅斑が出る。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | ウ | エ |
| 2 | イ | ウ | エ | ア |
| 3 | ウ | エ | ア | イ |
| 4 | エ | ア | イ | ウ |
| 5 | エ | ウ | ア | イ |

問9 次の文は、子どもの睡眠を表す文章である。( A ) ~ ( E ) にあてはまる語句を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

子どもの睡眠時間は、新生児期に比べ、成長とともに ( A ) になっていく。新生児期には昼夜のリズムは見られず、ミルクを飲み、また眠るという ( B ) 睡眠をしている。徐々に昼の時間帯に覚醒している時間が増えてくるが、乳幼児期には ( C ) をすることにより成人に近い睡眠のリズムを作る。幼児期になると日中は ( D ) することができるようになり ( E ) 睡眠となる。

【語群】

ア 多相性	イ 無呼吸	ウ 短く	エ 長く	オ 単相性
カ 午睡	キ 覚醒	ク 食事	ケ 入浴	

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ウ | ア | カ | キ | オ |
| 2 | ウ | オ | ケ | カ | ア |
| 3 | エ | ア | ク | キ | イ |
| 4 | エ | イ | ク | カ | ア |
| 5 | エ | オ | カ | キ | ア |

問10 次の文は、ダウン症候群についての記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 染色体異常の中でも頻度が高く、発症率は母親の出産年齢が上がるほど高くなる傾向がある。
- B 外見では、ややつりあがった小さな目、低い鼻、やや長い舌、耳介低位などの特徴的顔貌が見られることが多い。
- C 染色体の21番目が3本あり、先天性心疾患などの合併症を伴う場合が多い。
- D 筋緊張が弱く、寝返りや歩行などの発達の遅れや精神発達遅延がある。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	○	×
3	×	○	×	○
4	×	×	○	×
5	×	×	×	○

問11 次の【Ⅰ群】のマークと、【Ⅱ群】の記述を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

著作権の関係により公表できません。

【Ⅱ群】

- ア 「消費生活用製品安全法」により定められた安全基準検査に合格した乳幼児用ベッド等についているマークである。
- イ 製品安全協会が定めた安全基準に適合したとして認証されたことを示し、ベビーカー、幼児用ベッドガードなどについているマークである。
- ウ 日本玩具協会の玩具安全基準に合格した玩具を示し、おもに14歳以下の子ども向け玩具についているマークである。
- エ 日本公園施設業協会が制定した、遊具の構造、点検・修繕方法等の安全基準に適合した公園の遊具であることを示しているマークである。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | ウ | エ |
| 2 | ア | ウ | エ | イ |
| 3 | イ | ウ | ア | エ |
| 4 | イ | エ | ウ | ア |
| 5 | エ | ウ | イ | ア |

問12 次の文のうち、「保育所における感染症対策ガイドライン（2018年改訂版 2022年一部改訂）」（厚生労働省）に記載されている衛生管理に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A ノロウイルス感染症が流行している場合、トイレのドアノブ、手すり等の消毒には消毒用エタノールを用いて消毒を行う。
- B 砂場は定期的に掘り起こして、砂全体を日光により消毒する。
- C 洗えない遊具等は定期的に湯拭きまたは日光にあて、乳児がなめるものは毎日拭く。
- D 飼育している小動物に触れた後は、手洗いを徹底する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	○
4	×	○	○	○
5	×	×	×	×

問13 次の文は、子どもが出血したときの対応に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 出血がある部分を清潔なガーゼやハンカチなどで強く押さえて止血する。
- 2 切り傷、刺し傷、擦り傷による出血は、傷口を流水で洗い、汚れを取り除く。
- 3 止血が難しいときは、傷口を圧迫しながら出血部位を心臓より高くする。
- 4 鼻出血のときには、鼻をつまんで下を向かせて静かにする。
- 5 鼻出血の場合、鼻根部（キーゼルバッハ部位）を温めるとよい。

問14 次の文は、3歳未満児への保健的な対応に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 首がすわっても生後7～8か月までは、ベビーカーでの外出や移動はしない。
- 2 乳児をあやすために、持ち上げてはげしく揺らしたりしてはいけない。
- 3 乳児が眠っているときは、呼吸や顔色に異常がないかを定期的に確認する。
- 4 乳児を抱っこするときは、両膝と股関節を曲げた状態で両脚をM字の形に広げた正面抱きの「コアラ抱っこ」がよい。
- 5 新生児は、保温のため、目安として成人より1枚多く衣服を着せる。

問15 次の文は、心肺蘇生の胸骨圧迫の方法に関する記述である。正しいものを○、誤っているものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A からだが沈まない固い床や板の上で行う。
- B 1歳未満の乳児は、両乳頭部を結ぶ線の少し足側を目安とする胸の真ん中を2本指で圧迫する。
- C 幼児は、胸の厚みの約1/2沈む深さまで圧迫する。
- D 1分間に100回～120回くらいの速さで圧迫する。
- E 普段どおりの呼吸や目的のある仕草が認められるまで、または救急隊員に引き継ぐまで胸骨圧迫を継続して行う。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ | ○ |

問16 次の【Ⅰ群】の疾患と、【Ⅱ群】の内容を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ  
選びなさい。

【Ⅰ群】

- A ネフローゼ症候群
- B 鉄欠乏性貧血
- C 成長ホルモン分泌不全性低身長症
- D (1型)糖尿病

【Ⅱ群】

- ア 定期的にインスリンの皮下注射が必要である。
- イ 蛋白尿及び浮腫がみられる。
- ウ 成長ホルモンを分泌する力が弱いことで低身長になる。
- エ 離乳食が順調に進まなかったときにみられる。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | ウ | エ |
| 2 | イ | ウ | エ | ア |
| 3 | イ | エ | ウ | ア |
| 4 | ウ | エ | ア | イ |
| 5 | エ | イ | ウ | ア |

問17 次の【Ⅰ群】の発疹と、【Ⅱ群】の皮膚の症状を結びつけた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

【Ⅰ群】

- A 紅斑
- B 丘しん
- C 水疱
- D びらん
- E 痂皮

【Ⅱ群】

- ア 水様のものを含んで皮膚から盛り上がったもの。
- イ 盛り上がりの無い赤色のもの。
- ウ 膿や皮膚が乾燥して固まったもの。
- エ 5mm程度までの半球状に皮膚から盛り上がったもの。
- オ 皮膚が薄くはがれ、液が染み出て表面が浸潤しているもの。

(組み合わせ)

- |   | A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | イ | エ | オ | ウ |
| 2 | ア | エ | イ | ウ | オ |
| 3 | イ | エ | ア | オ | ウ |
| 4 | イ | オ | ア | ウ | エ |
| 5 | エ | イ | ウ | オ | ア |

問18 次の文は、子どもが嘔吐したときの対応に関する記述である。不適切な記述を一つ  
選びなさい。

- 1 水分が摂れない、唇や舌が乾いている場合は、医療機関を至急受診する。
- 2 寝かせる場合には、体を仰向けにして寝かせる。
- 3 頭を打った後に嘔吐した場合、救急車を要請し、その場から動かさない。
- 4 汚染された子どもの衣服は、ビニール袋に密閉して家庭に返却する。
- 5 嘔吐処理に使用した手袋、エプロン、雑巾等は気密性の高い袋に入れて廃棄する。

問19 次の文は、「保育所保育指針」第3章「健康及び安全」の一部である。( A ) ~  
( D ) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

子どもの健康に関する保健計画を( A )計画に基づいて作成し、( B )がそのね  
らいや内容を踏まえ、一人一人の子どもの健康の( C )及び( D )に努めていく  
こと。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	全体的な	全職員	確保	育成
2	長期的な	担当保育士	保持	育成
3	長期的な	担当保育士	確保	増進
4	全体的な	全職員	保持	成長
5	全体的な	全職員	保持	増進

問20 次の文は、保育所で地震が起きた時の保育士の対応に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 窓や扉を開けて出入口を確保する。
- 2 上から物が落ちてこない、横から物が倒れてこない場所に子どもを待機させる。
- 3 園庭にいた場合、園庭中央付近に子どもを集合させ、待機させる。
- 4 津波が発生した場合、一刻も早く高台に避難させる。
- 5 子どもと園外にいた場合、必ず一緒に保育所へ急いで戻る。